

これまでの経過

- 2019年1月、2019年G20大阪サミット及び2025年大阪・関西万博の開催地として、SDGs先進都市を目指し、大阪府は大阪市と共同で「**おおさかプラスチックごみゼロ宣言**」を行った。
こうした状況を受け設置された「**おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議**」の後継として、2021年8月に「**おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム**」が設置された。
- おおさか海ごみゼロプラン**（大阪府海岸漂着物等対策推進地域計画）や**大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実行計画**といった計画に沿う取組みとして実施

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
国際動向	○G7 大阪ブルーオーシャンビジョン2040年前倒し		○2025年大阪・関西万博の開催 ○プラスチックごみ汚染防止に係る条約採択	
国 (法制度等)				○国内法や関連計画等の整備
府 (関連計画)			○おおさか海ごみゼロプラン ・必要があると認める場合は計画を見直し ○大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実行計画 ・2025年度を目途に、関連計画や大阪・関西万博の成果などを踏まえ見直し	
プラットフォーム	<p>【流出対策】 非意図的に排出されるマイクロプラのうち代表的なものを対象</p> <p>○人工芝 流出対策GL周知</p> <p>○被覆肥料殻 実態調査・対策検証</p> <p>○ビーズ 情報収集</p> <p>【排出抑制事業】 プラフリー・使用済プラの両面から取組み</p> <p>○プラスチックフリー RBオフィス等での実証</p> <p>○使用済みプラ回収・リサイクルシステム 生分解コップ実証検討</p> <p>○新たな効果的な取組み</p>	<p>GL周知</p> <p>調査結果の共有・周知</p> <p>流出実態調査／対策検討／成果の周知（排出源における対策実施）</p> <p>オフィス等での継続した取組</p> <p>新たなロケーションにおける実証</p> <p>実証／成果の共有・周知</p>	<p>○成果の府域への展開</p> <p>○新たな技術の万博での披露・発信</p> <p>GL周知／府内人工芝施設による流出対策実施</p> <p>効果的対策周知 ／農業者による被覆肥料殻流出対策実施</p> <p>成果の共有・周知（排出源における対策実施）</p> <p>成果の共有・周知 ／新機能RB等の府域での設置拡大</p> <p>成果の共有・周知／万博において堆肥化可能なワンウェイ食器の導入と堆肥化を実施（検討中）</p> <p>実証／成果の共有・周知</p>	<p>成果を総括するとともに、国内法・計画等の整備や府計画の見直しも踏まえ、プラットフォーム事業を総点検</p>